

平成25年度香取市小中学校「標準学力調査」結果概要

香取市教育委員会

1 調査目的

各小中学校が、一人一人の子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるために、学習指導上の課題を明確にして、今後の指導の工夫・改善に活用する。

2 調査内容

(1) 調査対象

中学校2年生

(2) 実施教科

中学校…国語・社会・数学・理科・英語

(3) 調査実施日

平成26年2月5日（水）

3 調査方法

学習指導要領に示された内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて、学力調査を実施した。

4 調査結果、分析及び改善策

【中学校 第2学年】

[調査結果]

平均正答率（％）

教科	目標値	香取市平均	目標値との差	全国平均
国語	68.2	72.3	+4.1	71.7
社会	50.7	50.7	0.0	51.0
数学	56.2	57.9	+1.7	56.5
理科	53.6	60.0	+6.4	54.3
英語	57.1	60.5	+3.4	57.2

※目標値…正答できることを期待した生徒の割合を示したもの

[全体的な傾向]

国語、数学、理科及び英語は、市平均正答率が目標値と全国平均をともに上回った。社会は、市平均正答率が目標値と同じであるが、全国平均を下回った。全体として、学習の実現状況はおおむね良好である。

[国語科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【文法・語句に関する知識】文法・語句に関する知識では、敬語について理解することに課題が見られた。
 - ・敬語については、よく使う言葉を一覧表に整理し、その後具体的な場面を想定して、適切に使えるかどうかを確認していくことが大切である。敬語は、一度の指導で終わってしまうのではなく、さまざまな場面で繰り返し取り上げ、定着を図る必要がある。
- 【文学作品の内容を読み取る】文学作品の読み取りでは、表現の特徴をとらえることに課題が見られた。
 - ・文学作品においては、表現に着目することで、作品を深く読むことができる場合がある。その作品として効果的だと思う表現に着目した学習を展開できるようにしたい。
- 【新聞記事の内容を読み取る】新聞記事の読み取りでは、文章の内容を正確にとらえ、的確な意見を述べることに課題が見られた。
 - ・ここでは、〈下書き〉とそれを書き直したものとを比較し、なぜ書き換えたのかという理由を考える必要がある。両者を比較してみると、〈下書き〉では自転車のルールを守ることが述べられているが、書き直したものでは具体的な自転車のルールが示されている。これを踏まえて、解答欄に合うように記述する。複数テキストの比較に関しては、学習指導要領の第3学年の指導事項として新設されたが、第1学年から学習を積み重ねていくことにより、生徒が自ら観点を設定して比較する力を身に付けさせたい。
- 【作文】作文では、自分のとった立場の理由を書いたり、文章の内容に沿ったまとめを書いたりすることに課題が見られた。
 - ・まとまった長さの文章を書けるようにするには、日頃からこまめに書く機会を設けることが大切である。文章全体の構成をしっかりと組み立て、自分の立場を明確にしてから、その根拠を示し、まとめを的確に書く必要がある。「はじめ・なか・おわり」という3段落構成で書くことは、文章の書き方の基本であり、国語だけでなく、他教科でも求められる技能であることから、今後も継続して指導していきたい。

[社会科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【世界と比べた日本の地域的特色】ハブ空港のしくみを考えることを通して、日本と世界の結び付きの特色を考えることや、世界の気候区分についての理解をもとに、グラフの構成について考えることに課題が見られた。
 - ・日本と世界の結び付きについては、近年の交通網や通信網の発達・整備について押さえた上で、日本の貿易における航空輸送の果たす役割や、その拠点を理解させることが大切である。また、世界の六大陸と三大洋の位置を確認した上で、世界の気候区分は、赤道を中心に外側に行くにしたがい、熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯（亜寒帯）、寒帯に分かれていることを押さえたい。地理の学習では、図やグラフの読み取りに慣れさせる工夫が必要である。
- 【日本の諸地域（自然環境）】宮崎県で行われているピーマンの促成栽培についての理解をもとに、月別出荷量の特徴について考えることや、北九州市で行われているエコタウン事業についての理解に課題が見られた。
 - ・九州地方の気候の特徴について、農作物の栽培とも関連させつつ理解させたい。また、明治時代以降、北九州工業地帯が重工業を中心に発展してきたことと、大気汚染や水質

汚濁などの環境問題改善に取り組んできたことを押さえた上で、現在行われているエコタウン事業について、具体的な事例にもとづいて指導することが大切である。

- 【江戸時代】田沼意次が行った、長崎貿易の奨励について理解することや、鎖国政策についての理解をもとに、資料の特色を考え、表現することに課題が見られた。
- ・概して外交の歴史は、知識が定着しにくいところである。各時代において、どの国とどのような交流があり、日本にどのような影響を与えたのか、一度きちんと整理しておく必要がある。また、江戸幕府の鎖国政策は、幕府によるキリスト教の禁止、外交関係と海外情報の統制、大名の統制など、さまざまな面から捉えることを指導することが大切である。

[数学科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【連立方程式】連立方程式を利用し、文章問題を解くことに課題が見られた。
- ・問題をよく読んで内容を把握し、何を x 、 y と置くのか、また何と何を等号で結べばよいのかを考えさせる必要がある。その際、文中の数値に印を付けさせたり、単位に着目させたりして、左辺と右辺で等号が成り立つかどうか、また何についての式を立てているのかを確かめさせることが大切である。また、代入計算の際には、符号の間違いが起きやすいことから、日頃から途中式をきちんと書く習慣を付けるよう指導したい。
- 【1次関数】動点のつくる図形の面積の変化について表したグラフを選ぶことや、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することなどに課題が見られた。
- ・1次関数の指導においては、まず x と y の対応表の見方について押さえておきたい。その上で、グラフの傾きや切片からその特徴を読み取ることや、グラフの特徴を的確に説明することを指導したい。
- ・1次関数と図形の融合問題では、図形の辺上を点が動いたときにどのような面積変化が見られるのかなど、具体的なイメージをもたせることが大切である。視覚的な教材を活用し、事象のもつ数学的な性質に興味・関心を抱かせるようにしたい。
- 【図形の性質】長方形の紙を折ったときにできる角の大きさを求めることに課題が見られた。
- ・誤答の主な原因としては、図形の基本的な性質を忘れていること、複数の基本的な性質を組み合わせて使うことができないことなどが考えられる。三角形の内角、外角の性質や平行線の性質などについて確認し、1つの方法で求められた生徒には、別の方法で求めさせると、図形に対する考え方を深めることができる。

[理科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【物質のなり立ち】炭酸水素ナトリウムの分解前と分解後の、物質の性質を比べることに課題が見られた。
- ・炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムの水に対する可溶性は簡単に確認することができるが、色変化に比べ印象に残りにくい。生徒はその変化を見逃してしまうことがあるので、注意を喚起したい。
- 【電流の性質】直列回路の中に加わる電圧、流れる電流の規則性や、電気ポット内の水が沸騰するまでの時間を、電力と時間の規則性から推測することに課題が見られた。
- ・オームの法則の計算や、直列や並列の合成抵抗の計算ができるようになるだけでなく、

回路の中での抵抗の働きや、電圧の加わり方など電流の流れ方をイメージさせながら指導したい。

- ・個々の現象について理解しており、図や短い文で問うと正答できる生徒でも、長い文で出題すると、答えられない場合がある。読解が苦手な生徒に対しては、問題文が明らかにしようとしている目的を整理することができない生徒に対しては、問題文を段落に区切ることで、何を求めるべきかに気づかせるような指導を行いたい。
- 【電流と磁界】磁石、コイルを動かす向きや磁極を変えることで、誘導電流の向きを変えられることの理解に課題が見られた。
 - ・電磁誘導の実験において、コイルに磁石を入れるときと出すときとは、流れる電流の向きが逆になることは印象に残っても、出し入れする磁石の極を変えると、電流の向きが逆になることについては理解することができない生徒もいる。また、磁石をコイルに近づけることと、コイルを持って磁石に近づけることが異なると考える生徒もいる。演習実験などを行い、両場面が同じ状況にあることについて注意を喚起したい。
- 【静電気と電流】放電について理解したり、電子の流れが電流であることを理解したりすることに課題が見られた。
 - ・金属線の中を流れる電子の動きを知らないと答えられない問題である。誤答が多い場合、真空放電の陰極線を取り上げ、電子はマイナスの電気を持つこと、マイナスの電気とプラスの電気は引き合う力が働くことに気付かせ、電流と電子の流れを丁寧に説明したい。また、金属は、物質内を自由に動ける電子（自由電子）があれば導体になり、自由電子がなければ絶縁体になることも指摘したい。

[英語科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【リスニング（対話文の応答）】対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることに課題が見られた。
 - ・August third は比較的聞き取りやすいと思われるが、解答する際に、天候を表す it を用いることができるかどうかのポイントになる。天候や曜日に関する表現については、クラスルーム・イングリッシュを用いて定着させる必要がある。毎日の授業における自然な状況の中で、How is the weather today? It is cloudy. のような問答を行わせることが大切である。
- 【語形・語法の知識・理解】過去進行形の語形・語法を理解することに課題が見られた。
 - ・現在形の英文を現在進行形に直し、過去進行形に直すという一連の流れを、パターンプラクティスによって何回も口頭練習する必要がある。口頭練習の後は、ドリル問題を使用し、書くことによって、それを確認することが大切である。
- 【場面に応じて書く英作文】英語で相手の希望をたずねる文を書くことに課題が見られた。
 - ・条件英作文自体、授業の中で扱うことは少ないため、定期テストなどで、和文英訳のみでなく、このような形式の問題も取り上げていきたい。その際には、go の代わりに visit を、want to の代わりに would like to を使うことができるように、答えは1つではなく、いくつかのアプローチがあることも教えることが大切である。